

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 令和6年度

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	「つきの樹の事業所理念」を掲げ、玄関に掲示している。認知症緩和、地域交流を実践、外泊、外出、季節を感じる行事も毎月行っている。	理念をどのように共有しているか具体的に報告する。		理念に基づいた行動目標を立てて、毎朝取り組んでいる。取り組みとして、良いと思う。良い取り組みなので、記録に残せばどうか。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	近隣の理髪店や美容室に、入居者と一緒行き、顔見知りの関係を築いている。ふれあいサロンや保育園との交流、作品展への出品や見学など地域の人との交流を行っている。	地域交流の内容を具体的に報告する。		自然に地域の行事に参加できているのが良いと思う。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	隣接する小規模多機能けやきの郷と合同にて2ヶ月に1回、運営推進委員と家族に活動内容を報告し、議事録を作成している。感染対策や面会、事故防止対策等について助言をもらい、サービス向上に活かすように取り組んでいる。	運営推進委員からの家族の立場からの意見が参考になっている。その内容を、ミーティング等で職員に伝え、家族の立場からの視点を持ったサービスを提供できるように努めている。		ご家族の立場からいただくご意見を取り入れてもらっているのは良いのではないかな。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	市の介護保険課と、利用者の相談や事故報告のやりとりをしている中で、助言やアドバイスをもらい運営に活かしている。	運営推進会議の中でも意見や助言をもらっている。介護保険課の窓口へ行った際にも気軽に相談をさせてもらえる関係ができています。		運営推進会議を通して顔の見える関係が築けている。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内と事業所にて定期的・必要に応じて研修をしている。拘束以外の方法を常に検討し安易に拘束しないケアに努めている。外に出たい希望があれば、職員付き添いのもと対応している。	グループホームでは、玄関の施錠を日中はしていない。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施錠していないとはいえ、自由に出ていけるわけではないのであれば、玄関を施錠しても良いのではないかな。防犯面でも家庭では施錠している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内と事業所にて定期的・必要に応じて研修をしている。虐待の目チェックリストを活用し、不適切ケアについて検討することにより意識づけを行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度・日常生活自立支援事業について研修で触れている。実際に活用する対象者が身近にいないこともあり実践はないが、全職員が権利擁護に関する内部研修を受けている。			
	8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の際時間をかけて、疑問や不安が残らないように説明を行っている。また、改定などの際は文章を交付し、承諾を得ている。不安や疑問は相談しやすい関係作りを行っている。		持病が進んだ時、どこまで対応してくれるのかは、明確にしてもらえると良い。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	来訪時や連絡があった際に職員から積極的にご様子を伝えコミュニケーションをとるよう努めている。また、入居者懇談会を実施し、職員も入居者の意見や要望を日常的に聴くように努めている。	職員の入れ替わりがなく、家族の面会も多いため家族と職員の関係作りも行いやすい。管理者だけでなく、介護職員が家族から意見をもらうこともある。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族としては、入居者同士の相性や人間関係が気にかかる。
	10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月全体ミーティングを行い、意見交換の場を設けている。日常的にも現場の意見を聞き、適時面談を行い、意見や提案を聞く機会を作っている。毎朝、合同での申し送り時に意見交換を行っている。		

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年個別に目標設定・面談を行っている。外部研修参加や資格取得に関するフォロー体制づくりを行っている。休憩やシフト、業務改善の為に個々の意見を聞き取り反映させ、働きやすい環境作りに努めている。	離職がないことは、働きやすい環境を提供できていることにつながっている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	離職がないことは良い。管理者の人は休めているのか。
	12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内での研修、フォローアップ研修、キャリアパス制度の導入、役職ごとの研修などさまざまな研修を設けている。また、外部研修や資格取得等、情報共有し、機会の確保、参加する職員のシフト調整等を行っている。	家族の立場から求める職員とは。研修や資格取得などで知識が豊富な職員、手際よくてきぱき働く職員など様々な職員がいる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議、地域密着型会議に参加し意見交換を行っている。管理者以外の職員は、実践者研修や地域の勉強会へ参加し交流する機会となっている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一方的な介護をするのではなく、下膳配膳食器洗いや自室の掃除など、その方に出来る事を見つけ行ってもらいながら、一緒に生活するという目線で支援を行っている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の希望に添い、外泊外出の要望に応えた。入居者の知人や家族の来所や電話にはできる限り対応し、関係が途切れないための支援を行っている。	以前からの友人が訪ねて来られるときは、キーパーソンと本人に確認し面会してもらっている。事業所のある地域には限られてしまうが、以前の民生委員さんとの関係も継続できており、地域の催しにも参加している。		地域の方が入居されるようになれば良い。
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人や、ご家族から面会時に意見や情報をいただき、普段の関わりの中で趣味や趣向を引き出してご本人の希望に添えるように努めている。また、困難な時はミーティングでの話し合いを行い、本人本位に検討を行っている。	趣味や嗜好などの好きな事の把握は積極的に行っているが、嫌いな事の把握をしていないことに気が付いた。		苦手なことをやるよりも、やってほしい事・やりたいことを出来る方が良い。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人とのかかわりの中で気づきや、ご家族、訪問診療などの医療連携での話し合いにより、現状に即した介護計画を作成している。プラン更新時には、ミーティングにてスタッフの意見も聞き取り入れている。	医療的なケアが必要になってきた方や、認知症の進行により外部の専門医の受診が必要になってきた方など、介護以外の専門職の意見も取り入れながら家族に説明している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療者の考えと介護者の考えが違う場合もある。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別の介護記録では、サービスの提供内容だけではなく、様子や発言、状況などを細かく記録する事で、職員間で情報共有出来るよう努めている。介護計画の見直しは、これからである。	個別記録はどういうときに使うのか 家族に開示されるのか	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランに沿った介護サービスが提供されているか、目標の達成度合いを確認するための資料にも使う。介護記録に記載された情報を分析し、ケアプランの作成に反映させている。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時から状況が変われば、その都度、スタッフだけではなく医療関係・福祉用具等の提供機関に相談しながら、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	新しい情報を収集し、研修も行っている。		知識のある事業所、時代の流れにあわせて新しい介護のスタイルを取り入れている事業所に家族は頼みたいと思う。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	隣接する小規模多機能型居宅介護事業所と協力しながら、地域行事への参加や消防訓練で地域の防災士との交流から、地域のマンパワーを利用できるように配慮している。	地域の方から声をかけていただける関係となっている。		とんど焼き、けやきクラブ等、自治会だよりを参照してどんどん参加してもらったら良い
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られ係りつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	係りつけ医や、医療機関を選択していただいている。また、かかりつけ医とは、診療前の情報提供、日々の報告、相談、必要時の家族と主治医の面談など調整を行っている。	家族は主治医を変えても良いと言われたが、持病もあり入居前から往診医との関係があった方は、こちらの提案で、GH入居後も主治医を変えずに往診に来てもらった。本人にとって良い方を選択している。		主治医と密に連携をとれていることに安心する。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時病院へ情報提供を行い、入院情報は往診医や看護師、家族と共有し、スムーズな退院へ向け取り組んでいる		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時に看取り指針を説明し、同意をいただいている。早めの段階から終末期について家族で話しておくことを勧めている。実際にその時期になれば早い段階から医療機関や家族、施設などで看取りの方針を決め、家族の希望に添える援助が出来るようにしていきたい。	医療的なケアが必要になると、GHでの看取りは難しくなる。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族としては「最後まで」を希望する声をよく聞く。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	急変や事故発生時に対する法人内の研修やミーティング等で検討を行い、実践力向上に努めている。喉つめの研修を法人で繰り返し練習している。他事業所であった事故を共有し、当事者意識をもって再発防止に努めている。	救急搬送の事例、主治医や訪問看護師に相談した事例、搬送先での病院で、家族への意思確認などがあり、GH入居とはいえ家族のサポートも必要である。		家族よりは観察力があると思うので、スタッフが対応する方が安心。電話相談も活用しても良い。

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回、隣接する事業所と地域の防災チームと合同にて昼間・夜間想定での消防訓練実施し、誘導や行動について振り返りを行っている。災害備蓄品は本部管理のもと常備している。	地域の防災士と共に訓練をすることで、いざというときの館内の間取りや入居者の様子を知ってもらえる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の防災会議にも出席している。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入職時研修を初め、施設内研修として接遇研修を行い、学び気づく機会を持っている。不適切な対応があれば注意しあい、より良い接遇などに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り、その方に合わせたペースでのケアが出来るように心がけている。決まった一日の流れを強要せず、臥床時間や入浴等、ご本人の意思や体調に合わせて支援している。本人に寄り添いながら生活リズムを整える部分は、時には本人のペースと違う時もある。	施設のようにならないよう、家として過ごしてもらえるように、心がけている。		女性の入居者が多いが、男性同士での時間を持てたら良いと思われる。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の食事に加え、おやつ作りのレクリエーションや出前をとるなど、楽しめる食事の提供に努めている。食事の準備や片付けは、入居者の方にも行ってもらっている。	個々の嗜好品やノンアルコールビールなど、出来る限り寄り添って食べたいもの飲みたいものを家族に協力を得て提供している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	持病などがなければ、アルコールを少くらいなら生活の場なので、飲めるようになったらいいと思う
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3食と、ティータイム、おやつ以外にも必要に応じて嗜好品などはご家族にも協力していただき、提供を行っている。食事や水分量に関しては、医師や看護師とも相談している。	入居者の方から「コーヒーがのみたい」と言われる時に提供することもある。お茶を好まずに水分量が少なめになっている人は、容器を変え好きな冷酒グラスを使用したり、入浴後に好きな物を飲んでもらうなど個々に合わせ工夫している。		ティータイムと別におやつがある事や水分補給のための工夫は、良い取り組みである。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の口腔ケアに加えて、定期的な訪問歯科診療を受け、歯科衛生士による口腔ケアの助言と指導を受けている。本人の口腔状態に適したケアを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口のケアまで行ってもらえることは、ありがたい。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄チェックや記録を参考にし、個人の排泄パターンを考慮した上で自立支援に向けたケアを支援している。2名が紙パンツから布パンツに移行することができた。	紙パンツから布パンツになった方は、家族からの希望ではなかったが、お尻の皮膚の状態や失禁回数などから、布パンツに移行した。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄パターンを観察して普段は布、必要時に紙とこまやかにケアできていて良いと感じる
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	曜日の設定はあるが、体調や気分によって時間や曜日の変更を行う等、出来るだけ個々に合わせた支援に努めている。季節に合わせてゆず湯やしょうぶ湯など楽しみに配慮している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の生活リズムに合わせて就寝していただいている。照明器具や室温などに配慮しながら個々の状況に合わせた支援を行っている。不眠防止の為、日光浴も積極的に行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	医師や薬剤師に質問や確認を行いながら、服薬支援を行っている。飲み忘れや誤薬などは職員間で話し合い薬局とも協力して、工夫している。	薬をたくさん飲んでいる方が多く、主治医が少しずつ減らしている。誤薬を減らすため、一人ずつ配薬している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬剤師に管理を依頼し、介護の業務が軽減されたことが良い。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家事活動や挨拶、園芸、制作、個別の外出等、様々な活動を通じて実施し個々に合わせた役割支援、買い物などの楽しみごとの支援を行っている。外出時の混雑をさけるため、空いている時間帯や曜日、予約等を行い外出している。	洗い物が出来ない方はみんなのランチ用マットを拭いてもらうなど、役割分担として、出来ることを行ってもらっている。		できることを何かしてもらおうようにしていることが良い。役割を取り上げない努力が良いと思う。出来ることはやっていただく、良い姿勢だと思う。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設周辺のお散歩や隣のコンビニへの買い物、人ごみを避けての買い物や外出ドライブなどは頻繁に行っている。	立地の環境が良く、出かけやすい。		よく出かけている姿を見る。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	基本的に金庫での管理だが、預り金の中でご家族と相談しながら自由に使えるお金の使用や管理を支援している。	「髪を染めたい」という本人に対し、家族は毛染めによる肌荒れを心配し、不要と言われることがある。金額の問題でないようなので、自然派の毛染めを探したり美容室に相談している。		

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	届いた手紙の返信や電話対応の支援を行っている。Wi-Fi環境を整えており、アレクサの導入をしている方には、家族や知人との交流を支援している。			切手購入や手紙を書くサポートをしてもらえるのはうれしい。
	居心地のよい共有空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共有の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	なじみのある音楽をかけ心地よく過ごせる工夫をしている。空気清浄機やエアコン加湿器の使用で快適な空間づくりを行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	住宅街の中にあるという立地の環境も良い。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	住み慣れた家で家族と過ごすことが望んでいる入居者もおられるが、つきの樹での暮らし方を支援していきたい。			家族としては、自分達の生活もある為、近くのGHで介護をしてもらえることがありがたい。
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時前の情報をもとに、生活歴や友人関係の情報を収集し、面会時に来所者とコミュニケーションをとるよう努めている。その知り得た情報共有し、ケア・支援に生かしている。	中には、長い間家族と離れ、一人で頑張っていた入居者もいるため、家族が前の生活や交友関係を把握していない方もおられる。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	医師・看護師・理学療法士と日々の状況を共有し、ケア・支援内容を話し合っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	様々な専門職との連携があって良い。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎日の長距離散歩や、趣味のグッズを持ち込まれていない方など、ひとりの時間を有効に使えるように、支援していきたい。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自室に個々の家具を持ち込まれ、壁面に写真などを飾って、過ごしやすい空間で生活されている。	家庭的な居心地の良い環境を提供することを心がけている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	なじみの家具も持ち込めるのは良い。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	希望に沿えるように、外出の希望があった時には個別に、相談を受け対応している。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の関りから、ご本人が出来ることを見つけ、季節の行事や、制作を行うことを支援している。	家庭と同じように、台所での作業なども自由に行ってもらっている。		自分の家ではない台所で家事ができるようになる、新しいことができるようになるのはすごいことだと思う。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員が関りを深め、信頼関係を築き、個々の能力を見極めいきいきと過ごせるように支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	感染症が収束していない中でも、形をかえ、地域の人との交流を行えている。外出後の対応は、感染防止の為、食事の席を分けて対応し、3日間健康チェックをしている。	年末年始、3分の2の方が外泊、外出していた。面会も多かった。一緒にお散歩をする、お散歩面会などもお願いしている。		外泊や外出が自由にできることが良い。入居したら会えなくなることは寂しい。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	近くに住む家族に見守られながら、住宅街の真ん中にある好立地での施設で、安心した生活が送れるように支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	立派な行いをみなさんされている。こんなにたくさんの方を作ったのは大変だと思う。だが行政からの指針がないと評価しにくい。それぞれの特色があるのは良いと思う。認知症の方に対して、出来ることを増やしていく取り組みは素敵だなと感じた。